

第5回 釜石市新庁舎建設検討委員会結果概要

日 時 平成29年8月2日(水) 午後1時15分から午後2時40分

場 所 釜石市役所第4庁舎第7会議室

議 題 議案第1号 第4回釜石市新市庁舎建設検討委員会の主な質問・意見について
議案第2号 アクセス道路について
議案第3号 建設までのスケジュールについて
議案第4号 新市庁舎建設に関する提言書(案)について

出 席 者 《委 員》

石垣委員、岡道委員、柏木委員、柏館委員、川崎委員、菊池委員、佐々木(光)委員、
佐々木(耕)委員、澤田(龍)委員、澤田(政)委員、柴田委員、畠委員、矢浦委員、
山崎委員

《アドバイザー》

南 正昭 岩手大学教授

《事務局》

山崎副市長、正木総務企画部長、菊池財政課長、佐藤課長補佐、丸岡室長、洞係長、
宇都宮主事

協 議 内 容

【事務局】委員の任期が切れていることから全委員を再任し、新たに釜石市新庁舎建設検討委員会要綱第5条に基づき、委員長及び副委員長を選出した。
委員長に山崎長也委員、副委員長には柏館旨緒委員を事務局から提案して了承を得た。

【委 員】委員会の進め方について伺いたいが、委員の任期1年の延長という事だが、今後継続して建設に向けての委員会の開催というのを考えているのか？

【事務局】今後は基本設計、詳細設計、或は道路のアクセスの位置取りなどの設計した物の成果が、出てくる。建設までを考えると、3年4年の長丁場の事業になる。成果品が出た段階で、皆様への報告が必要であると考えておりますので、引き続き対応して行きたい。

【委 員】総合庁舎の中に、農業委員会は入れるのか？確認です。

【事務局】農業委員会は入るという事で考えている。

【委員長】アクセス道路として、現道路から、市の庁舎に入る場合の個人の用地というのは何処か？

【事務局】右折レーンを作る場合道路が拡幅になりますので、交差点の内側が若干、用地買収が必要になってくるかという事です。

【委員】交差点を下に設置すると、歩道橋を取らなくてはならない。駐車場と庁舎の間に、一般道が入ってくると危険度は増すのではないか。また、左の仙寿院側の道路は狭い道路ですから、庁舎側を広く使って出来るだけこの狭い道は下の方で接続して、安全にしてはどうか。

【事務局】どの位置に取り付け道路を作るかという事の検討を始めている。位置によっては、歩道橋の撤去を検討するという考え方を持っている。取り付け道路の一番適した場所に敷地内道路と合わせて検討して行きたい。一番安全で、地域の方が利用しやすいような形を作っていきたい。

【委員】三陸道が全線開通したとしても、両石インターがハーフインターですので、上り方向には接続出来ない、ただし非常時には解放して、将来的にはフルインター化への取り組みを要望して実現したいこと。天神線については、交差点の信号機を含め、安全について可能な限り確保する。この件が、アクセスで大きな2点です。これは要望事項ではないと思う。これは確約事項で、この2点を確約出来ないと、天神町に新庁舎を作っても、安全安心はあまり確保出来ないというのが一般的な考え方かと思う。確約事項として安全確保に向けて徹底した努力をお願いしたい。

【委員】スケジュールだがスピードアップを図れないか。1つ問題なのは、仮設住宅がありまして被災者の方が居られること。建設のスケジュールは進むけども、そちらの方も住宅再建なり公営住宅といった物が絡んできますので、その辺の手当てというのは市庁舎の担当とは別の部署が、やられているとは思いますが、その辺も丁寧に人の心を大事にして、進めることは進めて頂いた方が市民的にも良いのかなと思う。意見です。

【事務局】スケジュールに関しては、基本設計、交差点の警察協議、これがまとまらないと、非常に厳しい部分がある。ただ、こちら側の交差点と合わせて、建物側の工事は進めさせて頂いている。地域の方々が、きちんと対応出来るようにと進めております。スケジュール的には出来れば31年度の着工が望ましいというのが有るので、工期を短縮するという事を考えて、場合によっては、設計と施工を同時発注するデザインビルドの方向を考えている。仮設そのものが若干残るのも事実です。そういう中で、担当課と相談しながら、可能な限り、少しでも工期は短縮したいという思いは持っている。

【委員】提言書の2行目のところですが、「市町村役場機能緊急保全事業」の起債等、有効な制度を想定してとある。想定とは如何なものか。想定以前に、これを絶対的に活用するとか、ここからの活用が無い場合には、どちらから借りるとかが無ければならないのでは。

【事務局】確かに、「想定」という表現、非常に曖昧な表現ですので、「有効な制度を活用し」という表現にさせて頂きたい。庁舎を建てるため、この「市町村役場機能緊急保全事業」この四か年の時限立法を活用するとしないとでは、資金繰りが全く違うので、出来れば「市町村役場機能緊急保全事業」の制度が有るうちに早期に着工したいという考え方をもっている。

【委員】有効起債は、9割借金出来る、3割が交付税っていうのは、補助が貰えるっていう事か。

【事務局】今までは、一切お金が来なかったのですが、来るという制度になります。更に、残った庁舎をどうするんだというのが問題だったが、一定の条件を満たせば、壊す分も借りて良いと言う制度になった。

【委員】是非、活用してください。

【委員】この提言書を拝見して、委員会で各委員から出された意見等、網羅されておりますし、釜石市役所庁内の提案なども盛り込まれておりまして、非常に良い提言ではないかと思う。これで終わらないで、早期の着工を目指すよう求めるのと、表現としてもうちょっと強く、或は、もうちょっと表現を加えて、スピードアップ感、事業の進捗の表記とか加えた方が、力がこもっている感じが出ると思う。

【委員長】そういう所を踏まえて、皆様にご承認頂いたという事で宜しいですね。皆様に改めて、ご承認頂いたように、1年間委員として残って頂き、これからの過程について色々課題が出ていた事について、委員会に報告して進めていきたいという事でこの委員会を来年の6月末までということにさせて頂いた。今後は、進捗状況とか、基本設計が始まってくるので、そういった物に対しても説明を受けながら進めて行きたい。委員の皆さんには、各工程毎に招集があると思いますけども是非、協力をお願いしたい。当委員会がこれだけの意見を纏めて提案したんだと。我々が責任をもって自覚をもって当委員会を進めていきたいと思えます。

【事務局】市長への提言ですけれども、委員長さんと、副委員長さんは是非お願いしたいと思えますけれども、委員の方々もご都合の付く方は出席して頂ければと思うので、よろしくお願い致します。

【委員長】それでは、色々と有難うございました。今後も宜しくお願いします。